

## 定期演奏会ごあいさつ

校長 久保田 範夫

本日は、大変お忙しい中、安積高等学校吹奏楽部の第49回定期演奏会に御来場いただきまして、誠にありがとうございます。

吹奏楽部にとって定期演奏会は、年に一度の大きな発表の場であります。部員たちは、安積の精神の一つ文武両道を実践するべく、勉学に日々励みながら、毎日遅くまで、また、休日も返上して練習を続け、この日に照準を合わせて楽しく素晴らしい演奏を準備してきました。どうぞ、存分にお楽しみください。

東日本大震災から5年3か月が経過しましたが、福島県の復興はまだまだ進んでいません。震災後、様々なジャンルの音楽によって、人々の心が癒やされ、希望を見いだしてきており、改めて音楽の不思議な力を認識させられました。言葉だけでは捉えられないものを伝えようとする音楽は、私たちの想像力を豊かに刺激し続けます。そして、人々の心を癒し、聴く人々に生きる活力と希望を与える音楽は、これからも福島県の復興を支え続けてくれると思います。

最後になりますが、この演奏会の開催に当たり、多くの方々から温かい御支援を頂きましたことに感謝いたします。今後とも、安積高等学校吹奏楽部に対し、御支援を賜りますようお願い申し上げます。